

# 食の検定・食農級

## 3級

基本級

2007年より実施  
(前期・後期の年2回)

【受験資格】  
問わず  
(年齢等の制限なし)

食農3級は、受験地により  
一部問題が異なります。

【取得者の人物像・スキル】  
居住地域の食に目を向けつつ、  
望ましい食生活を送る上で必要な、  
農作物の生産から消費までの基礎的な知識を持つ人。

【レベル】 【合格点】  
高等学校レベル 80点以上

【試験構成】四者択一マークシート方式  
一般問題(全国共通) 90問  
地方問題(受験地区別問題) 10問 計100問(90分)

【出題範囲】  
○一般問題90問○  
「食の検定・食農3級公式テキストブック」より  
○地方問題10問○  
「日本の地域食材」より受験地区の農作物について

地区	出題対象各都道府県の農作物(加工品含む)について>
北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
関東	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県
中部	新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿	滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
中国・四国	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
九州・沖縄	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

## 2級

習得級

2008年より実施  
(年1回)

【受験資格】  
3級合格者

【取得者の人物像・スキル】  
日本の食料・農業事情に関する知識を持ち、  
日本の農産物、地方色豊かな地域農産物を  
把握している人。

【レベル】 【合格点】  
一般教養レベル 70点以上

【試験構成】四者択一マークシート方式  
全国共通 100問 (90分)

【出題範囲】  
●「食の検定・食農2級公式テキストブック」  
より70問  
●「日本の地域食材」より30問  
(テーマ食材問題28問、季節問題2問)

■テーマ食材とは■  
試験回ごとに試験対象となる食材を6~7品目設定します。  
これを「テーマ食材」と呼びます。「日本の地域食材」に掲載さ  
れているテーマ食材から28問出題します。

例)第4回検定試験(2010年後期実施)・・・6品目187食材  
①米 ②枝豆・さや豆・そら豆類 ③かぼちゃ ④にんじん ⑤なし ⑥牛

■季節問題とは■  
「日本の地域食材」に掲載されている農産物の中から、季節性  
が高い問題を2問出題します。前期試験の場合は3~8月頃、  
後期試験の場合は9~2月頃が旬の食材について出題。

## 1級

運用級

2011年より  
実施(年1回)

【受験資格】  
2級合格者

【取得者の人物像・スキル】  
日本の食・農に関する見識を持つ人。  
知識を実践に役立てられる人、  
他者に提供できる人。

【レベル】 【合格点】  
指導者レベル 70点以上

【試験構成】  
【当日試験】  
筆記試験(マークシート方式70分) 65点満点  
小論文(60分) 20点満点で4段階評価

【出題範囲】  
「食の検定・食農1級公式テキスト  
ブック」および食と農にかかわる時事\*  
※法律・制度、政策・施策、最新研究等

【提出課題】  
レポート(4つの課題から1つ選択)  
15点満点で4段階評価

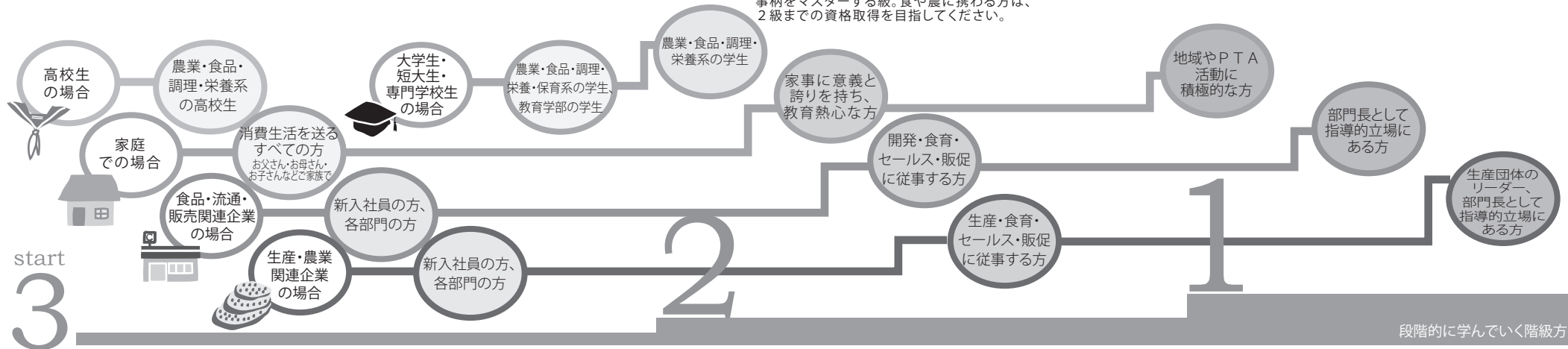
【課題】  
課題①地域食材の発掘  
課題②献立立案  
課題③食育活動の報告と自己評価  
課題④「各回限定課題」  
食農1級試験実施回数ごとに限定的に設定

### 食の検定・食農級 各級と取得者層例

【おもな取得層】  
☆消費生活を送るすべての人 = 「国民検定」を目指しています。  
☆食や農に関与する仕事に就こうとしている人、就いている人  
☆幼児・義務教育に従事する人

【おもな取得層】  
☆食や農に関心の高い生活者  
☆食や農の仕事に従事している人

【取得層イメージ】  
☆地域や社会のリーダーとして、活躍する人  
☆食や農にかかわる環境で、指導者・  
責任者の立場にある人



段階的に学んでいく階級方式です。